



鷲谷好輝

今、知りたい4つのテーマを読んでみる

パソコン通信でインターネットを使うには、アメリカのビジネス活用事例、アラン・ケイの電子メールアドレス、ネットワークのエチケットとマナー。



『よくわかるインターネット』
接続先、方法別で使える機能がわかる
著者名 / パイパーネットワーク研究会
出版社 / エーアイ出版株式会社
頁数 / 191頁 価格2000円
ISBN : 4-87193-317-2



『インターネット ビジネス活用の最前線』
著者名 / Mary J. Cronin 監訳 / 黒川 利明
出版社 / インターナショナル・トムソン
パブリッシング・ジャパン / オーム社
頁数 / 290頁 価格 ¥2980円
ISBN : 4-900718-10-6



『E-Mail Address of The Rich & Famous』
著者名 / Seth Godin
出版社 / Addison Wesley Publishing Company
頁数 / 130頁
価格 / U.S.\$7.95
ISBN : 0-201-40893-7



『Netiquette』
著者名 / Virginia Shea
出版社 / Albion Books
頁数 / 154頁 価格 / U.S.\$19.95
ISBN : 0-9637025-1-3

『よくわかるインターネット』

インターネットの使い方に関する入門書は、ここ数か月で何冊も出版され、情報量も多くなってきた。そんななかでも本書はパソコン通信からの利用をメインに解説した特徴的な書籍である。

パソコン通信からインターネットのサービスを利用する方法が紹介されているため、いきなりUNIXのコマンドを説明されたり、サービスプロバイダーとのアクセスに必要な設定手順などが載っていたりしないので、とまどうこともないだろう。

実際の章分けは違うが、本書は大きく3部構成になっている。まず、最初にインタ

ーネットについての紹介があり、パソコン通信との比較やインターネット上でのマナーやルールが解説してある。その次には、インターネット上のサービスとして、TELNET、Archieなどの基本サービスを一通り説明している。

そして、メインの章では、国内・海外のパソコン通信からインターネットを利用するための手順を図版形式で示している。取り上げられているパソコン通信も、国内の大手サイトは十分に網羅しているし、海外ではAOL (America OnLine)、WELL、DELPHIを取り上げている。また、商用プロバイダーや地域ネットワークについても

きちんと書かれているので、非常に親切だ。

最後にインターネットを利用するうえで必要となるソフトウェアとして、ウィンドウズではChameleon、マッキントッシュではMacTCPとMacPPPのインストール方法を説明している。

また、巻末にはリソースカタログとして、fjのニュースグループリストとWWWサーバリスト、国内でパブリックに利用できるオンラインの図書館データベース (OPAC) の一覧表、さらには用語集も載っている。

パソコン通信ユーザーにとっては、最適なインターネット入門書と言えるだろう。

『インターネット ビジネス活用の最前線』

「監訳者まえがき」に書かれている「...そして、考えてほしい。このドラマがなぜ彼の地で起こり、此の地で起こらなかったのかを」という文章が、実に印象に残っている。

本書はインターネットがアメリカで実際にどのように活かされてきているのかについて、インターネットビジネスに飛び込んだ各社の事例をケーススタディ的にまとめ、豊富な資料をもとに生き生きと語っている。いわゆる技術書ではないが、インターネットをビジネスに活用する戦略的な価値について述べた貴重な資料で、単なるインターネットを紹介したあまたの書籍よりも、イ

ンターネットの本当の「姿」が如実に伝わってくる。

本書で紹介しているインターネットに手を染めた大手企業も、医療、金融、経営、マスメディア、コンピュータなど、さまざまな分野におよんでいる。また教育分野での活かされ方についても言及している。

たとえば、石油探査会社として有名なシユルンベルジェ社のネットワーク活用形態や、インターネット上で新たにラジオ局を設けたInternet Talk Radioの生い立ち、また、電子新聞で有名なClariNetニュース開始のタイミングも取り上げている（ClariNetニュースはロイターやAPなどを中心と

したニュース情報を提供するサービスのこと。国内でもハッピーサイズ有限会社 clarinet@HappySize.co.jp に申し込みば定期購読できる）。

インターネットを礼賛する文章がやや鼻につく部分もあるが、ビジネスマンはもちろんのこと、「インターネットってTVニュースでもよく耳にするけど、自分には関係がない」と思っていたり、リストラばかり考えている経営者や経営コンサルタントの方々も、ぜひ一度読んでみるといいだろう。

ただし、せっかく興味深い事柄が書かれているのに、日本語版のレイアウトが可読性の妨げにならないか心配である。

『E-Mail Address of The Rich & Famous』

インターネットの紳士録ともいべき各界著名人や会社の電子メールアドレス一覧表が、本書である。内容の半分くらいがメーリングリストや相手の会社宛へのアドレスだったりするが、ビル・ゲイツやスティーブン・ジョブズ、アラン・ケイなどは、まさに本人宛のアドレスが明記されている。たしかにビル・ゲイツのアドレスは雑誌『New Yorker』で読んだものと同じだった。

TVレポーターなども登場しているので見ているだけでも楽しめるが、まだまだいわゆる業界人(?)のアドレスが多い。今後インターネットがさらに成長すれば、本当の意味

での分厚い紳士録が出版されるだろう。女優のジョディ・フォスターもメールを利用しているとどこかの記事で読んだ憶えがあるが、残念ながらこの本には載っていなかった。

ただ、ふと我に返ってこの本の実用度を考えると、あまり使い道がないように感じ

るのは私だけだろうか。もちろん、本書のおかげで一瞬ワクワクできたことは確かだ。たとえば、この原稿を書いているのはまだクリスマス前なので、一応、この本に載っているサンタさんのアドレスにメールしてみたら、次のメールが送り返されてきた。

```
From: Santa Claus <santa@north.pole.org>
Subject: Your NORTHPOLARgram!
Date: Fri, 9 Dec 1994 08:58:22 -0500
Aha! Me and the missus were just wondering when you were going to write. Good to hear from you!
Shinnen omedeto. Kurisumasu Omedeto!
What do you need help on? Christmas Day is still December 25, and Mrs. Claus still bakes me cookies.
Ho, ho, ho! Here's hoping you have a Merry, Merry Christmas and a Happy New Year!
Santa Claus
The North Pole
```

『Netiquette』

マックのエバンジェリスト(これはもう死語なのかな?)として有名なガイ・カワサキが序文を寄せている本書は、まるごと一冊、ネットワークを利用するうえでのエチケットについて書かれた書籍である。書名は、ネットワークとエチケットを組み合わせた「ネチケット」という造語。電子メールを書く際に守るべきマナーが主な内容だが、メーリングリストなどでの言い争い(フレームと呼ばれている)や、著作権についての注意、キャラクターベースのメディアでよく使われるスマイリーや略語の話もちょっとうちている(もちろん英語バージョン)。

大半がQ&A形式で簡潔に説明しているが、なかには詳しい部分もある。たとえばフレームにもいろいろ種類があるらしく、スペルミスや英語の文法の間違いを指摘するGrammer Flame、マニュアルを読まないで初歩的な質問をするRTFM Flame(RTFMはRead The Friendly Manualの略、friendlyはfuckingに変わることもある) Advertising Flameが紹介されている。

ネチケットの基本を説明した章では、「ルール1 相手は人間であることを忘れないこと」というように、1行規則として事例をあげながら、気をつけるべきことを説明している。たとえば、ガイ・カワサキが一度

も会ったことのない人から「あんたの書く文章はヘタクソだ」というメールを受け取った話。序文で、すべてのモデムにこの本をバンドルすべきだ、などと過激な文章を書いているのがなるほどと思える逸話である。

日本でもパソコン通信やインターネットで口論したり、訳のわからないメールを送りつけてくる人がいる。本書は薄く、英語もそれほど難しくないはずなので、1度読んで、ぼんやりとでもいいから、「こんなことしちゃうずいよな～」と感じておくことも必要だろう。なお本書の翻訳はひつじ書房(JBC03436@niftyserve.or.jp)から2月に出版される予定である。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp